学校番号	301

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校古典探究」（数研出版）						
副教材等	『体系古典文法』（数研出版） 『わかる・読める・解ける　Key&Point 古文単語３３０　四訂版』（いいずな書店） 『ニューフェイズ古典２』（第一学習社） 『構造から読み解く　これからの漢文』（尚文出版） 『新訂版　最新国語便覧』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習…音読して本文を写し、辞書・文法書・漢文学習書などを使って訳してみる。完全な訳でなくていいので、「どこが分からないのか」「何がわかれば訳せるのか」を把握してから授業に臨む。
授業…集中して授業に参加し、自分の頭で考え、板書していなくても必要なことはノートに書く。
復習…その日のうちに、ノートを見ながら内容を確認し本文を音読する。しばらく経ってからまたノートを見返して、重要事項の確認や音読をする。
語彙…古文単語の小テストをします。しっかり取り組み単語力をつけましょう。
１年生で学んだ文法を基礎として、様々な文章を読んでいきます。古典に触れいろいろな感想を持ちつつ様々な価値観を知ってください。課題・レポートなどの提出物は期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。音読や暗唱をすることは、古典のリズムや言語感覚を身体で捉えることに繋がり、読解のための一番の近道です。また辞書は、言葉の持つそれぞれの歴史や物語を覗くことができ、教養を深めるために大切です。初めは面倒に感じても、予習→授業→復習のサイクルを必ずつかんでください。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。【知識・技能】
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思考・判断・表現】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【主体的に取り組む態度】

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に思いや考えを広げたり深めたりしながら、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文[説話] [教材]『十訓抄』 「大江山」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c:積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート パフォーマンス課題
	古文[随筆] [教材]『枕草子』 「大納言参り給ひて」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	漢文[故事] [教材]『説苑』 「江南橘為江北枳」	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:指示語や比喩の関係について粘り強く考察しながら、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 ワークシート 定期考査	振り返りシート
	古文[日記文学] [教材]『建礼門院右京大夫集』 「なべて世の」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:平資盛の逸話について進んで調べ、学習課題に沿って本文理解と自分の考えを深めようとしている。	小テスト 定期考査	課題 ワークシート 定期考査	振り返りシート

	漢文[史伝] [教材]『史記』 「鴻門之会」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んで『史記』を読んで項羽の生き方について理解し，学習課題に沿って，人間のあり方について関心を深めたり，調べて発表したりしようとしている。	小テスト 定期考査	課題 ワークシート 定期考査	振り返りシート
二学期	古文[和歌・歌謡・俳諧] [教材]「古今和歌集仮名序」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	古文[物語] [教材]『源氏物語』 「小柴垣のもと」	a:古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c:進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し，学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 ワークシート 定期考査	振り返りシート パフォーマンス課題
	古文[随筆] [教材]『徒然草』 「九月二十日のころ」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	漢文[漢詩] [教材]絶句・律詩	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:進んでさまざまな唐詩を読み味わい，学習課題に沿って，言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	古文[軍記物語] [教材]『平家物語』 「忠度の都落ち」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:忠度の心情について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 ワークシート 定期考査	振り返りシート パフォーマンス課題
	古文[歌物語] [教材]『大和物語』 「をばすて山」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート

	漢文[思想] [教材]儒家思想・道家思想	a:先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりしている。 c:儒家と道家がそれぞれ、人間が生きていくうえでどのようなことに重きを置いているかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
三学期	古文[歴史物語] [教材]『大鏡』 「花山天皇の出家」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート パフォーマンス課題
	古文[随筆] [教材]『徒然草』 『玉勝間』	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b:[読]「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:粘り強く兼好法師と本居宣長の主張の違いを考え、今までの学習を生かして内容を比較整理しようとしている。	小テスト 定期考査	課題 定期考査	振り返りシート
	漢文[文章] [教材]『帰田録』 「売油翁」	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:「売油翁」の末尾一文の意味について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。	小テスト 定期考査	課題 ワークシート 定期考査	振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　105　）時間